

## 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境情報学特別演習Ⅱ (Environmental Information Engineering SeminarⅡ)【坂井研究室】		授業コード	M001204
担当教員名	坂井 美穂		科目ナンバリングコード	R30402
配当学年	2	開講期	通年	
必修・選択区分	必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	特別研究を遂行するための具体的手法の習熟を目的とする必修科目です。			
受講心得	大学院で実施する研究内容に深く関わる議論を授業として実施します。指導教員に言われるままではなく、積極的に考えなどを発言するように心掛けてください。			
教科書	資料を配布します。			
参考文献及び指定図書	適宜、指示します。			
関連科目	環境情報学特別演習Ⅰ、環境情報学特別研究			

授業の目的	実際に着手する研究を円滑に遂行することを目的に多方面から議論します。議論を通じて、自発的、創造的に研究を切り開いていくためのヒントを得ることを目的とします。
授業の概要	研究手法や得られた結果に関して議論します。 必要に応じて研究論文調査を適宜行い、今後の研究方針等を議論します。 修士論文研究のまとめ方やデータの解析についても指導を行います。 なお、課題返却、解説については毎回の講義内で指導していきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：授業について 授業の目的、内容、進め方を説明します。	報告書作成(4h)
第2週：実験について 得られた実験結果と今後の方向性を議論します。	調査研究方法についてレポート作成(4h)
第3週：他研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を比較・報告してもらいます。	報告書作成(4h)
第4週：実験について 得られた実験結果と今後の方向性を議論します。	調査研究方法についてレポート作成(4h)
第5週：他研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を比較・報告してもらいます。	報告書作成(4h)
第6週：実験について 得られた実験結果と今後の方向性を議論します。	調査研究方法についてレポート作成(4h)
第7週：他研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してもらいます。	報告書作成(4h)
第8週：実験について 得られた実験結果と今後の方向性を議論します。	報告書作成(4h)
第9週：実験について 得られた実験結果について総合的に議論します。	調査研究方法についてレポート作成(4h)

第10週：他研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を比較・報告してもらいます。	報告書作成(4h)
第11週：論文作成指導 得られた成果をどのようにまとめ、どのように表現するか議論します。	報告書作成(4h)
第12週：論文作成指導 得られた成果をどのようにまとめ、どのように表現するか議論します。	報告書作成(4h)
第13週：論文作成指導 得られた成果をどのようにまとめ、どのように表現するか議論します。	報告書作成(4h)
第14週：論文作成指導 得られた成果をどのようにまとめ、どのように表現するか議論します。	報告書作成(4h)
第15週：論文作成指導 得られた成果をどのようにまとめ、どのように表現するか議論します。	報告書作成(4h)
第16週：論文作成指導 得られた成果をどのようにまとめ、どのように表現するか議論します。	
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング 「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	課題、講義における発表の準備を毎回欠かすことなくできる。 積極的に発言・質問できる。
【知識・理解】	取り組む研究の背景、位置づけ、目的を理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	分かりやすい資料作成や発表ができる。
【思考・判断・創造】	目的を達成するような実験を実現できる。 必要に応じて研究内容を微調整できる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点	10点	

<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		20点	20点

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 (無形成果)	[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。